

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード		24	事業名		役員活動強化事業			戦略コード	3	戦略名	事業者が主役の商工会
担当部名	総務部		担当課名	総務・人材育成課	担当課長名	市井 仁		施策コード	12	施策名	トップマネジメント力の強化

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

現状では、商工会や県連合会の組織運営や事業推進、地域振興等については事務局主導で行われており、役員の参画が課題となっている。

2. 事業のねらい

事務局主導の執行体制を見直し、役職員がそれぞれ役割を果たし、事業者と地域の発展に寄与する組織の実現を目指す。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	B	H30	B	R1	B	R2	A
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

商工会成長プランの策定に関連して、策定委員会や課題検討会、さらには県連合会理事会役員会を商工会役員との議論の場と捉えて、組織課題や地域課題等を共有及び検討することができた。また、商工会役員が「経営者スキル習得塾」の講師となることで、経営のノウハウを伝達することができた。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

地域課題解決につながるテーマによる商工会役員を対象とした研修を開催するほか、組織検討委員会で役員の役割や待遇改善について検討する。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
57	個社支援に参画する仕組みづくり	商工会成長プランの策定を契機として、今後の新たな仕組みづくりについて検討を行った。	a	a	a	A
58	役員セミナーの開催	新任会長セミナーを開催し、組織の現状及び課題を共有するとともに、今後の組織のあるべき姿について理解を深めることができた。	a	a	a	A
59	役員による相談対応	青年部事業の「経営者スキル習得塾」の講師として経営のノウハウ等の共有を図った。	a	b	a	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	59					取組コード						取組コード					
指標名	役員による相談対応					指標名						指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標	12件	15件	18件	20件	25件	目標						目標					
実績	15件	15件	15件	21件	21件	実績						実績					
達成率	125%	100%	83%	105%	84%	達成率						達成率					
達成度	a	a	b	a	b	達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性

a

〈評価の理由〉

3回の商工会成長プラン策定委員会及び課題検討会における議論により、今後の役員活動のあり方について検討を行い、役員の組織運営の参画意識の醸成につながったことから、事業の必要性は高い。

【有効性の観点】事業目標の達成状況

b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

コロナ禍により役員セミナー等実施できなかった事業があったものの、諸会議等の場を通して、各商工会の役員と県連合会間で組織や地域の課題を共有できたことから、事業は有効である。

【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

a

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

既存の会議を活用する等、効果的かつ効率的な事業実施を図ることができた。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合

B

商工会成長プランの策定を契機として、今後の組織のあり方や、役職員一体となった組織運営の方向性等について議論することができた。また、組織検討会を立ち上げ、県連役員（各商工会長）自らが組織のあるべき姿について議論した。

3. 課題

商工会役員の組織に対する参画意識の醸成が必要である。

4. 今後の対応方針(改善点)

商工会役員がこれまで以上に組織運営に参画しやすい環境を整備し、商工会組織全体の活性化を図る。